がんばろう

津波なんかに 負けない!

第305号 令和2年5月20日 大船渡市立 末崎地区公民館

電話 (F兼) 29-2955

末崎町の石碑・祠・神社(33)

その 10 観音様について

末崎町内の観世音菩薩等 ~ その7

観世音菩薩坐像 (大船渡市史第五巻 P 283) (末崎の郷土誌 P 622)

所在地 末崎町字中森 麟祥寺門前 (寺坂上り口) 建立年月日 不詳

大きさ 55 × 80 説明 この観音様は、麟祥寺の第 17 世霊州祖苗大和尚が寺子 屋を開設し、多くの弟子達を指導したので、没後弟子達が浄 財を集めて建立したものとされています。台座に氏名が刻ま れていますが風化が激しく読めませんでした。

観世音菩薩石碑?

所在地 末崎町字中森 麟祥寺境内(右石門の後ろ)

建立年月日 不詳

□世音□□ 表面 大きさ(cm) 30×74

風化のため正確には判読できないが、石に文字だけ彫刻 されています。

その他(訂正) 9 馬頭観音~そ の1の項で、馬頭 観音の説明を「仏 教における 33 観音菩薩の一つであ り」と記載しまし たが、「33 観音菩 薩の一つ」のと ろを「七観音菩薩 の一つ」と訂正い たします。(紀)



麟祥寺門前の聖観音坐 中森

い10め度え歩覚悪足のの日は人病新宮いの下あ口 `を感けま寒がよ味の `を棟型下る恐智たナ米いをウ漢令 F. 13 にの職超染なし、原うが4連診をコ医 怖氏つウ国るふイ市和 味検員えをいた筋因にせ月日て担口師 **~**~てイニ るルで元 党査用る確ほ。肉と重ず7のい当ナはも予の発認ど「痛思い、日夜た。ウ病失約遠熱しの壁、食。勤。2イ院 をがいルユ いス発年 人一生12 次感たスト の染日感ヨ 々がし月 。隔とた倦を関た過後イが症人ルに 「診咳。怠伝節、労もン終状のス増 よし本染し を世たに うた人症ク お界「中 食体療も8感わ痛就や身ドわが医患設 に体医ので び各新国 欲調を出日」なで寝運体力つ出師者さもが通た、をい目後動がレたたで用れ衰悪じた38覚とを、不鉛ー翌の30のた 述験師治新 え国型湖 べへへ療型 さでコ北 てそ宮にコ せ猛口省

染新 し型 なコ いロ ナ さ ウ せ 1 な ル LI ス た に め

`い `果う手

予

体 法

ベ入うす

 \mathcal{O}

でれ

手せ

。 能 ウ た ウ **が** こ

えがずを防

うに

とけそ性イめイ

て考スまス

``付

でるしをル

糖しな染日た心化い間「のり後比新恐しる症「現14コ分に々はえ尿、人し本」配しなに自重、、較型怖た。状新在日ーがはに10て病そにてにとで酸い安分症病容的コをこ頭に型も時ラ飲、症日いなのうい対語夜欠。否は化院体軽ロ感とで悩コ自点かん嗅状にっど人つるしつもに夜を一しでがいナじがわまっ宅でさで覚は確た してがいナじがわま 人つるし でさで覚は確た 口宅 のがす可て ま陥間確人たは急症ウたなかった認暮患、変状イーいっ ナ えいも改認 さ 咳 つに認暮患 ウ自 分る影善さと など かの響すれ振 f 病齢能性 の者性は無 ただれ に が は が は が らがをる 1) 症 あやがあ症 眠 なコ受一そ返 لح 状 も、 な長 に な あ り 状がっとた、後 のよっとた、後 れ思状れたて同能間患 る心ある、状で なう つヒた。 人臓る 態るめいじ性続者 悪 からかって、悪が夜 、た30もいは 夜。代あた、 < 。大も 寒体く引 な病 ŋ, も切感 に験い

あすののらどで者をに染スなま**な入**染イう新**感**信(食心きな重 手ドににドの触 `しがどずどりしルに型染よ2いがるる症 ま接指ア付触ア手の感ま、に、の口まス感コしり 0 止け範し 着れノやた染す直よ感粘はすが染口な 2 める囲と す 0 の鍵、 。体すナい 感移ブしるブ指り者(接っ染膜 こで警 染りなまとやにすが飛口て者でおそ内るウた 告リ だが常 。イ車着 を感目散咳 に際入とルの `識 - ク لح ことし染にしやく 15 強感的個が `る言ス**予** ス や体こえは防 0) 染な々何 調 鼻**内**とばど**法** 拡行人倍 時 付 L `O `へで 着 事 た大助 // ・ ををでも 大動がに それな指染口ぎ感ルみ 目の感ウよ 通

あ新れめのそ式大家ロここあ免する守なす着こるはなは**効**また

、 - つのかこぶでた のかわそれがもの 長ス、生れがし。に

て予

。で

活

体遠か受県し生感策新方ま基まがをらにスへをし

۲

れがて。にイ

免**免**ル

お防まであることに粘

す本す低高体重クの洗て

て

L

いり手言いの対のりのい力力からマ膜手着行内

状 手 公公 働座人 人 んだ] 控 い数 1 一活〉朝 いない 共 ポ لح き 事 を。 で、 え \vdash 素 交 会方] 物 \mathcal{O} 会大時 < \otimes ル 早 朝 通 0 あ間 に。 間 議テ て 距ぐ < 食皿 少 換晚 た ŧ け隔 励レ は 気検人 関 は 離ジ 人 行り 澼 7 る 。温 لح で 避お をョ 展数 け 会 ス 1 けし 取ギ 示で ク話小 会 き る話 対 所 , b 品す っン ク る ゜は を 面 てグ だ 横べ 時ま ~ 11 控 記 \mathcal{O} はめ録 並り すは のた け オ え 打 び れ少 接時 症に

中なまで、カルとい **デンイ** 長 ·ル<u>ホ</u>

はれ

いたします パソコン コン・スマ ・スが相談 教除 室さ

し地民 ま 区館 岩藤略 梅野脇 藤澤 廣 上野新悦 新沼 昇 大和田弘 中 l 7 佐藤 公関勇 た民係退 発 心展 館役さ 孝行史晶樹 かに か員れ 郎 ら大 夫

介外

ス

て

見

7

み

ょ

う

活

式

の

を

道

 \mathcal{O}

ŋ

具は

後

鹸

で

丁

寧 ク

に着

手用

い帰

`宅

洗

ヤ石

ワ

]

£

ら10ま

応外通持係応いう。 から、たちを、 訪葬 れ祭 感 あ 謝と思 たへ る 人の 行 へ参 動 の列 11 P 冷 冷な

。け止ら

静ど仕り医静 どテ職備手施策なで事の療なおを一場の洗設の施 対県や気関対も行シで設いは徹設広外通特係応いうョは置の、底・ 入 B り 勤テ 者 レ実や \mathcal{O} \mathcal{O}

、様拡門コ

らしば個要の」に会ナれれる疫る

マめ生束人」体まえがイららいこ感でた

出たい収々請具を備議ウかかと力と

つつ「て新丁感政

てか岩提し場染府ある。

へがを例とた

店がを例とに ル の守しやめ「長ス

例いなけかた活染専型

務、 ワ施。手 制 指限 時 Ì 差ク、 \mathcal{O} B 消誘 感 H 毒導、 勤口 染 対 Ì な 設

3 るのいうク自 府。あななラ粛3県 府定不移 要動リ**県**は 3県 要動リ**県**は 蜜と警不自ス**か**換 るい施ス 場場設タ のの戒急粛クら気 あ移心 ののと 合 () に対が 0 所 る動感規 場 場は染制 に 限策発 \mathcal{O} かるが生, 所避拡や お H 講し け 大旅 る

。下**め**を要**を**付**う**いきれの

こるのるをと可

すた

° &

」は**こ**避た、**レ**け

高要 い請ス 都 道 出やじてを、らい のる。注行 府 外 県 意な 避3れる 都ど 出 \sim 0 道特 け蜜て